

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スターキッズ梅屋敷		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心できる通所	・不審者対策として、不審者が来た際にはどのような対応をするのか訓練を行う等、児童が安心・安全に過ごせる環境設定を行っています。また、個々の意見を尊重し意見や考えの多様性を知りながら集団活動に於ける学びの場としています。	・避難訓練や不審者対策の訓練を定期的に行っていく事で、緊急時にも臨機応変に対応していく力を身につけていきます。
2	異学年交流	・小学生と中学生、小学生と高校生といったメンバーでペアを組んだりグループ活動に取り組むことで、異学年交流を図っています。少し離れた年齢の児童と交流することで、社会性の学びに繋がっています。	・年上の児童が年下の児童を気に掛ける事で、リーダーシップや主体性を育む機会に繋がっていくとともに、年下の児童からもお互いに協力していけるように自身からの発信を促していきながら、チームワークを発展させています。
3	将来に向けて必要と思われる力の獲得に向けた取り組み	・学習指導のみではなく、面接の練習機会も設けております。また、受験生ではない児童も参加する事で、将来行うことへの学びに繋がっています。その他、主体性を育めるよう自身から行動していけるように促しています。	・受験に向けた取り組みのみではなく、今後は就職に向けた取り組みも行っていく事で、高校卒業後の社会人としてのマナーや立ち振る舞いを身につけられるようにしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時等の対応に関する保護者への周知	避難訓練実施を周知しておりますが、非常災害時対応マニュアルの策定やそれに基づく取り組み、又、避難場所や避難ルートの掲示は教室内に限られており、より詳細な周知には至っていない状況です。	職員研修や訓練に取り組んでいることを、SNSも活用し周知することで保護者の目により留まるよう対応していきます。又、自主通所児童も多い教室である点より、児童の通所時に起こりえる災害時の対応を想定した取り組みを検討する事で、安心安全に通える教室としての周知にも繋がっていきます。
2	保護者との連絡	・HUGや半年に1回以上のモニタリングを通じて情報共有を行っています。利用児童の高学年化に伴い自主通所が多数を占めており、保護者と直接話をする機会が減っています。	・何かあった際など、緊急な場合や早急に確認が必要な場合は電話連絡しているが、繋がらないことも多い。HUGでも連絡をしているが、確認されない(既読にならない)方も多いため、事業所からの連絡は必ず確認していただくようお伝えしていき連絡が取れるようにしていく。
3	家族に対して、ペアレント・トレーニング等や研修会の実施	・モニタリングやフィードバック時に、保護者より質問等があった際には困りごとについての助言等を行っていますが、そこに留まっており研修会などは開催できておりません。	・受験についてのアドバイスを先輩保護者より聞く機会を設ける事や、受験生を持つ保護者同士で集まり情報交換の場を設けるなど、保護者の困りごとやニーズに応じて解決に繋がる場を設定していくようにする。